

竹炭の破碎

2017年5月24日

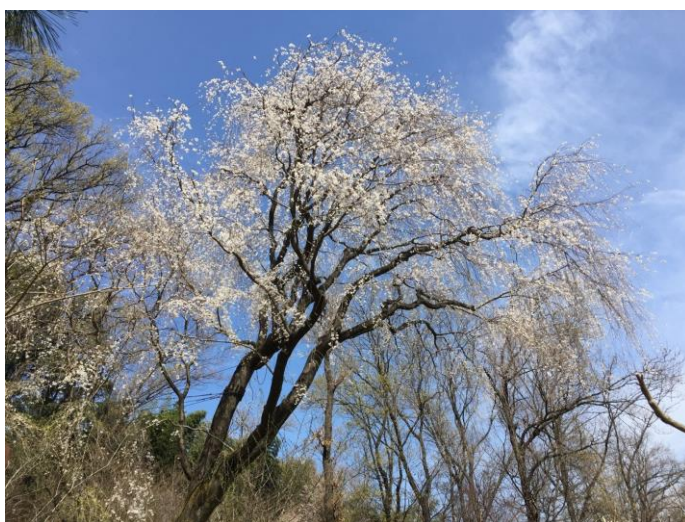
東山植物園のご厚意に甘え、竹炭の破碎を行って頂きました。ドラム缶の窯 2.5 杯分です。

一昨年、熱田土木事務所さんに木の治療の為に竹炭を供給しました。その結果、驚きの効果がある写真を頂きました。

<http://sizen.ciao.jp/chacoal/TreatmentZelkova161226.pdf>

何処で粉碎されたのかお聞きしたら、東山植物園との事でした。

名東自然倶楽部も、シダレザクラ（名東区の名木にも選ばれています。名古屋市みどりの協会^⑩参照。記載されているより一回り大きくなっています。）の保全活動を昨年度より行っています。樹木医さんより、土壌改良が必要と診断されています。パーライト等の高価な材料を使用するより、現地調達できる竹炭を利用したいと思っておりまして、何とか粉碎できないかと思っていた矢先でした。



目的をお話して、熱田土木さんの事例もお伝えした所、快く粉碎して頂きました。

黒煙が立ち上り、凄い事に成りました。横で見ていただけなのに、終了後、マスクは真っ黒、マスクと安全眼鏡を外すと、その輪郭が顔に残っておりました。普段は竹や、樹の粉碎なのでこんな事は無いと思います。本当にご面倒かけてしまいました。



昨年度は、なごや生物多様性保全活動協議会の助成金を頂き、今年は東山植物園の支援を頂き、何とかシダレザクラの保全を成功させたいと思っています。